

議会による行政評価

町では、まちづくり基本条例に基づき行政活動を点検し、改善を図るため、令和元年度一般会計決算による行政評価（事務事業評価）を実施し、議会基本条例に基づく決算説明資料として議会に提出しています。

議会では、「福島町議会行政事務事業評価要綱」を定め、それぞれの事務事業について議会側の評価を示し、議会としてのチェック機能を強化するとともに、併せて翌年度の予算へ反映させることとしています。

全議員が1事業ずつ評価し、常任委員会ごとに調整した結果・評価方法は次のとおりです。

◎議会の行政評価結果概要

1. 経済福祉常任委員会の内容（R2.10.13開催）

評価は29件の事務事業で、町の最終評価は、「現状にて事業を継続又は拡充」とする「A」が25件、「事業の進め方の改善により継続」とする「B」が1件、「事業の規模・内容等の見直し検討」とする「C」が3件、となっています。

議会の評価結果は、「十分評価できる」とした「◎」が2件、「概ね評価できる」とした「○」が23件、「やや不足している」とした「△」が4件となりました。

2. 総務教育常任委員会の内容（R2.10.14開催）

評価は41件の事務事業で、町の最終評価は、すべて「現状にて事業を継続又は拡充」とする「A」となっています。

議会の評価結果は、「十分評価できる」とした「◎」が3件、「概ね評価できる」とした「○」が38件となりました。

【町の評価表】

低 ←		→ 高							
必要性+有効性									
0	1	2	3	4	5	6	7	8	
C				A				5	達成度+効果性 ↑ 高 ↓ 低
C				A				4	
C				A				3	
C				A				2	
C				A				1	
D				B				0	
D				B				-1	
D				B				-2	

① 評価の分類

- A = 「現状にて事業を継続または拡充」
- B = 「事業の進め方の改善により継続」
- C = 「事業規模・内容等の見直しの検討」
- D = 「事業の抜本的見直しを検討」

② 評価表の見方

「必要性+有効性」の点数と「達成度+効果性」の点数が交差したところが評価となる。例えば、必要性+有効性が5点、達成度+効果性が1点の事業は「B」の評価となります。

【議会の評価方法】

議会行政事務事業評価要綱に基づき、全議員が各事務事業の内容を総合的に判断した4段階評価を行い、「議会の最終評価」と総合的な説明を加えて「議会評価」としています。

なお、平成27年度からは評価点数ではなく、行政で評価した内容と議員が認識している評価対象事業の内容を総合的に判断し、次の4段階評価としています。

「◎」十分評価できる 「○」概ね評価できる 「△」やや不足している 「▲」不足している

経済福祉常任委員会 所管事務事業

*議会の評価 ◎：十分評価できる ○：概ね評価できる △：やや不足 ▲：不足

事務事業名	事業内容	町の評価内容						議会の評価	
		必要性 + 有効性	達成度 + 効果性	項目別 点数 評価	一次 評価	二次 評価	最終 評価	評価	説明
No. 15 戦没者追悼式事業	戦没者を追悼する式典を実施	5	1	B	A	A	A	○	遺族会とも協議のうえ、戦争の無い平和の誓いを行う行事として、引き続き防災無線を活用した全町的な黙とうをするなど、新たな展開を期待する。
No. 16 社会福祉	社会福祉団体への補助金 (社会福祉協議会外)	4	2	A	A	A	A	○	行政と社会福祉協議会が密接に連携し、引き続き高齢者や低所得者の生活安定のため、社会福祉業務全般について適切に執行願いたい。
No. 17 高齢者行事	敬老会の開催	5	2	A	A	A	A	○	全町的な行事の継続については評価します。今後とも趣向を凝らし参加者に楽しんでいただけるよう期待します。
No. 18 在宅福祉事業	老人クラブ連合会への補助	5	2	A	A	A	A	○	老人クラブの活発な活動に期待します。
No. 19 吉岡総合センター 管理運営	吉岡総合センターの維持管理	4	3	A	A	A	A	◎	利用者のニーズに合った適切な管理運営に努められたい。
No. 20 学童保育	授業終了後の保育に欠ける 学童の保育	6	2	A	A	A	A	○	保育体制を確保の上、教育委員会と連携し、特色を持った運営を期待する。
No. 21 ごみ減量化対策	家庭から排出される生ごみの 自家処理機購入に対する 助成	7	0	B	C	C	C	△	可燃ごみ排出量は減少しておらず、現場の声を聞き、町民に対する生ごみの水切り徹底、無駄なごみを出さない生活様式の改善を徹底指導するよう検討されたい。 3Rの周知徹底（リデュース、リユース、リサイクル）
No. 22 保育所	福島保育所の運営 (定員60名)	7	3	A	A	A	A	○	教育委員会と連携し特色のある認定こども園の運営を期待する。年齢バランスを考えた正職員の採用を検討願いたい。
No. 23 社会福祉総務	社会福祉団体活動支援、温泉優待券配布、寝たきり老人介護者手当支給	6	3	A	A	A	A	○	社会福祉業務全般について、適切に執行願いたい。
No. 24 重度心身障がい者等 タクシー料金助成事業	病院等へ通院するためのタクシー料金の一部を助成	5	3	A	A	A	A	○	引き続き適切に執行願いたい。
No. 25 老人福祉	希望者に対する、緊急通報システム機器設置	6	3	A	A	A	A	○	検証を行い、高齢者に対する利便性のある事業として一本化することも必要ではないか。
No. 26 健康づくり推進	健康づくり推進員の配置や健康フェスティバルの開催等による町民の健康増進	7	3	A	A	A	A	○	健康づくり推進員と保健師が連携しながら、日常生活の中で健康に対する意識の醸成を促す活動に力点を置かれたい。
No. 27 医療対策 (保健衛生総務)	在宅当番医制運営事業への負担金、保健師等に対して修学資金貸付	5	1	B	A	A	A	○	毎年度貸付実績がない状況であることから、その要因を分析し、今後の対応を検討すべきである。
No. 28 医療対策 (医療対策)	子ども医療費に係る福祉医療システムの管理、日曜当番医制による町民健康保持	7	3	A	A	A	A	○	広域的な取り組みを進められたい。
No. 29 老人保健	脳障害等の罹患者の退院後の日常生活の資質向上を図るため健康教育等やリハビリ教室を実施	7	3	A	A	A	A	○	町立診療所と連携した在宅リハビリを充実させるための検討をされたい。 (作業療法士等の配置)

21 福島町議会だより

経済福祉常任委員会 所管事務事業

* 議会の評価 ◎：十分評価できる ○：概ね評価できる △：やや不足 ▲：不足

事務事業名	事業内容	町の評価内容						議会の評価	
		必要性 + 有効性	達成度 + 効果性	項目別 点数 評価	一次 評価	二次 評価	最終 評価	評価	説明
No.30 活性化センター管理 運営	「あづま〜る」施設の維持 管理	6	2	A	A	A	A	○	地域文化の活動拠点としての利用と、 食や歴史等の町内外への情報発信を期 待する。
No.31 多面的機能支払交付金事業	多面的機能支払交付金事業 を実施している団体への活 動経費の交付	5	2	A	A	A	A	○	地域活動組織と連携し、円滑な事業展 開を期待する。
No.32 熊等による被害対策	熊等の有害鳥獣の被害防止 と危険個所の巡回	7	3	A	A	A	A	○	ハンター後継者の確保に努力し、捕獲 後の処理負担を軽減するための協力体 制の構築と助成金の増額を検討すべき。
No.33 利子補給事業	漁業者への貸付に対する融 資機関への利子補給	8	5	A	A	A	A	○	関係機関と連携し、円滑に事務を進め られたい。
No.34 水産加工振興協議会 補助	協議会の運営に対する補助	6	3	A	A	A	A	○	原料不足と価格高騰のため、当該補助 の検証をしながら、基幹産業に対する 強力な振興策を検討願いたい。
No.35 水産多面的機能発揮 対策事業	水産業が持つ多面的機能を 発揮させるために活動して いる組織への支援	5	2	A	A	A	A	○	活動組織と連携し、円滑な事業展開を 期待する。
No.36 漁村環境改善総合セ ンター運営	福島・吉岡漁村環境改善総 合センターの管理運営	6	1	B	C	C	C	△	福島については、改修し現状維持に努 められたい。吉岡については、老朽化 により使用休止していることから評価 対象から除外すべきである。
No.37 労働者支援	雇用保険の手続き、職業紹 介等の労働支援	9	3	A	B	A	A	△	福島職業援護相談所は解散したが、職 業紹介等の効果的な事業の改善、新規 事業の工夫を期待する。
No.38 地場産業開発研究事 業	地場産業開発研究会への補 助金の交付	3	1	D	C	C	C	△	事業の硬直化、固定化が見られるため、 現状をしっかりと分析し、効果的な事業 の改善や新規事業の工夫が必要。また、 設立趣旨を再認識し、構成団体・事業 者の主体的な参画を喚起する対応が必 要である。
No.39 観光振興	観光協会への補助、広域的 観光協議会との連携事業、 プロモーション及び物販イ ベント等でのPR事業	8	3	A	A	A	A	○	当町の観光事業の実態として、観光協 会やまちづくり工房の単独での体制確 保は困難であり、早期に町の方針を示 し、体制充実を図るよう指導・助言さ れたい。
No.40 横綱記念館管理運営	千代の山・千代の富士の二 人の横綱の出身地として、 「横綱の里」のシンボル施 設の管理運営	5	2	A	A	A	A	○	九重部屋あつての記念館ということ を意識し、貴重な資料を無駄にすること なく両横綱の偉業を顕彰し、大切に引 き継いでいくことを期待する。購買グ ズの充実についても検討されたい。
No.41 特産品センター管理 運営	特産品販売施設の管理運営 (スルメ、コンブ)	5	3	A	B	B	B	○	道の駅としての評価が低い現状を踏ま え、内容充実を図るための再検討が必 要である。
No.42 青函トンネル記念館 管理運営	青函トンネルの工事記録や 技術情報等のトンネル文化 を後世に伝える施設の管理 運営	7	2	A	A	A	A	○	情報発信が不足している。イベントも 含めて積極的な施設の利活用を考え、 第2青函トンネル構想などの企画展示 に積極的に取り組まれたい。
No.43 街灯料助成事業	街路灯設置及び街灯料の助 成	7	2	A	A	A	A	◎	他の公共施設等のLED化も期待する。

総務教育常任委員会 所管事務事業

* 議会の評価 ◎：十分評価できる ○：概ね評価できる △：やや不足 ▲：不足

事務事業名	事業内容	町の評価内容						議会の評価	
		必要性 + 有効性	達成度 + 効果性	項目別 点数 評価	一次 評価	二次 評価	最終 評価	評価	説明
No. 1 会議録調整	臨時職員1名を雇用し会議録を作成	5	2	A	A	A	A	◎	目標期間の短縮を図り、引き続き迅速な会議録の作成を期待する。
No. 2 情報公開	議会だより発行、議会ホームページ運用経費ほか	6	2	A	A	A	A	◎	引き続き住民に興味を持って見てもらえるよう、更なる工夫を期待する。
No. 3 職員研修	職員の研修計画に基づいた研修の実施	5	3	A	A	A	A	○	知識研修、接遇研修、専門的研修の質的向上を図り、メンタルヘルスの研修も検討願いたい。
No. 4 車両管理	公用車両の適正な管理	4	3	A	A	A	A	○	引き続き各車両の整備点検を進め、前後録画できるドライブレコーダーの全車完全設置を進められたい。
No. 5 交通安全対策	町民に対しての交通安全啓発活動	5	3	A	A	A	A	○	指導員の高齢化に対処する体制づくりと、効果的な啓発の更なる工夫を図られたい。
No. 6 町民運動対策 (青少年外)	青少年問題協議会の開催、松前地区防犯協会への助成金の交付	5	3	A	A	A	A	○	全町的な運動展開になっていない。犯罪・非行の防止のための情報発信に努めてもらいたい。
No. 7 インターネット事業	役場庁舎及び外部公共施設のインターネット環境の維持保全	4	3	A	A	A	A	○	引き続きセキュリティ対策に努め、Wi-Fi環境の整備、インターネット利用拡大の取り組みを期待する。
No. 8 ホームページ管理	ホームページを運用し町民等へ行政情報を発信	5	2	A	A	A	A	○	統計資料等の基本的事項や行事内容を積極的に発信するよう努められたい。また、検索が容易にできるよう検討されたい。
No. 9 生活館等管理	町内14町内会館の適正な維持管理	6	3	A	A	A	A	○	公共施設維持保全計画の基本方針に基づき、施設の維持等適切な措置と有効活用を期待する。
No. 10 災害対策	防災機器の整備、防災資材確保、防災訓練等による住民の安全な生活環境の維持	7	2	A	A	A	A	○	個別受信機の良い利用のため継続的なメンテナンスが必要。特に、千軒地区の抜本的な雑音対策を更に検討されたい。
No. 11 防災備蓄品整備事業	福島町災害用備蓄計画に基づき、防災備蓄品や防災資機材の整備・更新	6	3	A	A	A	A	○	災害発生時、遅滞なく対応できる備蓄品の更なる整備を期待する。
No. 12 町内会連合会助成	福島町町内会連合会の活動を支援するための助成金の交付	7	3	A	A	A	A	○	住民参加を目指した住民活動の統一的な組織体制を検討されたい。
No. 13 文書広報	町広報誌の発行	6	3	A	A	A	A	○	今後とも町民に分かりやすい広報誌の発行に努めるとともに、ちらしの集約化等を検討されたい。
No. 14 バス待合所管理	バス待合所の維持管理(5カ所)	5	4	A	A	A	A	○	今後も利用者にとって快適な施設の維持管理を期待する。

総務教育常任委員会 所管事務事業

* 議会の評価 ◎：十分評価できる ○：概ね評価できる △：やや不足 ▲：不足

事務事業名	事業内容	町の評価内容						議会の評価	
		必要性 + 有効性	達成度 + 効果性	項目別 点数 評価	一次 評価	二次 評価	最終 評価	評価	説明
No.44 教育委員会	教育に係る事務事業等の推進、教育課題の解決に向けた方策を検討等	10	3	A	A	A	A	○	今後とも町の教育の状況を的確に把握し、活発な議論が展開されることを期待する。
No.45 教育関係団体・大会参加助成	教職員団体への助成、児童生徒の全道・全国大会参加費用の助成、学校給食費の無償化	8	3	A	A	A	A	○	各種団体等の状況等を十分把握し、助成事務を執行されたい。
No.46 福島商業高等学校存続対策	入学時の奨励金や検定受験等の助成ほか	7	2	A	A	A	A	○	高校と連携の上、魅力ある学校づくりに邁進されたい。
No.47 友好町交流事業	長野県木曾町、長崎県松浦市との中学生交流	7	4	A	A	A	A	○	三市町交流事業を推進するとともに、新たな地域との交流の展開を期待する。
No.48 A L T 招致	英語指導助手 2 名招致	7	4	A	A	A	A	○	引き続き英語教育の充実に努力されたい。
No.49 児童生徒輸送	児童生徒の通学、学校行事、各種大会参加等への輸送	9	3	A	A	A	A	○	現状の児童生徒送迎等を維持されたい。
No.50 就園・就学奨励援助	特別支援学級奨励費、要・準要保護就学援助費の交付	8	4	A	A	A	A	◎	引き続き対象世帯の経済的負担を支援されたい。
No.51 奨学金貸付	経済的理由により高校、大学等に就学が困難な学生への奨学資金貸付	7	4	A	A	A	A	○	国の動向を見ながら、給付型奨学金の検討を進められたい。
No.52 基礎学力向上支援事業	基礎学力の向上が必要な科目に臨時教員採用し、チームティーチングを実施、小中教諭の先進地視察研修	6	4	A	A	A	A	○	時代の流れに応じた独自の支援策を展開されたい。
No.53 教員住宅整備事業	教員の生活拠点となる住環境の整備・管理	5	3	A	A	A	A	○	引き続き計画的な整備を進められたい。
No.54 私立学校振興	私立幼稚園への管理運営費の助成金交付	6	4	A	A	A	A	○	幼児教育の充実が図られている。人口割合による目標数値の改定が必要である。
No.55 小学校管理	小学校の適正な管理運営、学校施設等の維持整備、ICT教育に必要な環境の整備及び関係機器の保守管理	10	3	A	A	A	A	○	児童が快適な環境で学習できるよう施設の長寿命化対応等に努められたい。
No.56 中学校管理	中学校の適正な管理運営、学校施設等の維持整備、ICT教育に必要な環境の整備及び関係機器の保守管理	10	2	A	A	A	A	○	生徒が快適な環境で学習できるよう施設の長寿命化対応等に努められたい。
No.57 学校給食センター	児童・生徒への学校給食の充実	8	3	A	A	A	A	○	米等の地域食材の利用割合を上げ、メニューに工夫を加え、残さず食べられるおいしい給食の提供に努められたい。

総務教育常任委員会 所管事務事業

* 議会の評価 ◎：十分評価できる ○：概ね評価できる △：やや不足 ▲：不足

事務事業名	事業内容	町の評価内容						議会の評価	
		必要性 + 有効性	達成度 + 効果性	項目別 点数 評価	一次 評価	二次 評価	最終 評価	評価	説明
No. 58 学校給食センター施設維持管理	学校給食センターの施設・設備等の維持管理	7	4	A	A	A	A	○	給食の提供に支障のないよう、安心安全な維持管理に努められたい。
No. 59 社会教育総務	社会教育委員会議等活動運営費、スポーツ・文化活動功績者の表彰、各種学級、講座等	6	2	A	A	A	A	○	町の社会教育の状況を的確に把握し、指導体制の確立と活発な事業展開を期待する。
No. 60 読書活動	図書室の運営(福祉センター内)	11	4	A	A	A	A	○	これからも、より町民に親しまれるような運営を期待する。
No. 61 成人教育	各種講座開催、ブックスタート事業・高齢者学級の運営、ふくしま女性の会・PTA連合会の運営費助成	7	3	A	A	A	A	○	異世代間の交流が図られているが、引き続き住民ニーズを把握し、リーダー養成に努められたい。
No. 62 青年教育	教育委員会主催の成人式、実行委員会(新成人)主催の成人祭の開催運営助成	7	4	A	A	A	A	○	成人式の在り方の検討を進めるとともに、青年教育の新たな展開を検討されたい。
No. 63 少年教育	小中高生を対象とした青少年主張大会、吉岡小学校学校開放事業、少年対象講座の開催	7	3	A	A	A	A	○	通学宿舎や福島学ジュニアなど、新しい事業も取り入れているが、さらに積極的な展開を期待する。
No. 64 芸術・文化	芸術鑑賞事業、町民文化祭を主催する文化団体協議会への助成	7	4	A	A	A	A	○	新たな展開を期待する。
No. 65 文化財保護	歴史講座の開催、埋蔵文化財の保存と啓蒙、文化財の保存と公開展示、文化財保存団体への助成	8	4	A	A	A	A	○	チロップ館を活用した専門的な文化財保護活動を期待する。
No. 66 保健体育総務	スポーツ推進会議の開催、各種社会体育事業、各団体への運営費助成	6	2	A	A	A	A	○	町の保健体育の状況を的確に把握し、指導体制の確立と活発な事業展開を期待する。
No. 67 総合体育館運営	総合体育館施設の維持管理運営	6	3	A	A	A	A	○	利用者の視点に立った維持管理に努められたい。
No. 68 町民プール運営	町民プール施設の維持管理運営	7	3	A	A	A	A	○	町民プールの有効活用を進められたい。
No. 69 ファミリースポーツ公園管理	ファミリースポーツ公園施設の維持管理運営(パークゴルフ場)	6	1	B	B	B	A	○	利用者が高齢化等で減少する中で、児童生徒等の利用を促進する事業、利用拡大の検討をされたい。
No. 70 福祉センター運営	福祉センター施設の維持管理運営	5	3	A	A	A	A	○	音響設備の点検・整備等、施設の適切な維持管理に努められたい。

来年度の評価に向けて【両委員会共通意見】

現状の評価方法の達成度・効果性では適切な評価とまらない項目も見受けられるため、評価シートの見直しを始めとした評価方法全般の改善と、目標設定のハードルを上げるなどの検討を更に進められたい。
また、評価は予算のみでないで、事務事業名については、「費」を省くべきと考慮するので、検討願いたい。